

規格と許容値概要

【PHS 陸上移動局 証明規則第 2 条第 1 項第 22 号】

試験項目	技術基準等
電波の型式	G1C, G1D, G1E, G1F, G1X, G1W G7C, G7D, G7E, G7F, G7X, G1W D1C, D1D, D1E, D1F, D1X, G1W D7C, D7D, D7E, D7F, D7X, G7W  但し制御チャネルは D1D, G1D
割当周波数又は指定周波数	1884.65 ~ 1919.45MHz
チャンネルの数又は間隔	117ch 300kHz
周波数の偏差 (×10 <sup>-6</sup> )	3
占有周波数帯幅	1893.5MHz 超え 1919.6MHz 以下 : 288kHz 1884.5MHz 超え 1893.5MHz 以下 : 884kHz
スプリアス発射の強度	帯域内 1884.5MHz 以上、1919.6MHz 以下  794nW/MHz 以下  帯域外 1884.5 未満、1919.6MHz 超え (2.25MHz 離調) 794nW/MHz 以下 1920MHz 以上、1980MHz 以下 (2.25MHz 離調) 251nW/MHz 以下 2110MHz 以上、2170MHz 以下 (2.25MHz 離調) 251nW/MHz 以下
空中線電力の偏差	指定値 (以下) : 0.01W 偏差 : +20% -50%
副次的に発する電波等の限度	4nW 以下
隣接チャンネル又は帯域外漏洩電力	占有周波数帯幅 288kHz 以下 : 800nW 250nW (600 ± 96kHz) (900 ± 96kHz)  占有周波数帯幅 288kHz 超え : 800nW 250nW (900 ± 96kHz) (1200 ± 96kHz)
搬送波をオフ時の漏洩電力	80nW 以下
変調信号の送信速度	許容偏差 ±100×10 <sup>-6</sup> 変調信号の送信速度は別表 1 による。
送受信装置以外のその他の装置	キャリアセンス 識別装置 混信防止機能 子機間通話 電波の停止
総合動作試験	周波数の自動選択

別表 1

設備条件等	変調信号の送信速度		
	PHS の無線局		
	占有周波数帯幅 288kHz 以下	占有周波数帯幅 288kHz を超える	
変調方式	ロールオフ 0.5	ロールオフ 0.5	ロールオフ 0.38
BPSK	192kbit/s	576kbit/s	640kbit/s
QPSK	384kbit/s	1152kbit/s	1280kbit/s
8PSK	576kbit/s	1728kbit/s	1920kbit/s
12QAM	672kbit/s	2016kbit/s	2240kbit/s
16QAM	768kbit/s	2304kbit/s	2560kbit/s
24QAM	864kbit/s	2592kbit/s	2880kbit/s
32QAM	960kbit/s	2889kbit/s	3200kbit/s